

媒体名：毎日新聞全国版

日付：2008年6月17日

ひと

心を10、20代の日系4

サンパウロで21日に開催される「ブラジル日本移民100周年記念式典」で「千人太鼓」を披露する。演奏曲は「絆」。広大な大地で労苦を重ね、今日の繁栄を築いた日系人を前に、「みんな一つになることの喜び、つながることの大切さを伝えた」と話す。

奏者の中心は10、20代の日系4

ブラジルで日系人の若者に和太鼓を指導

わた なべ よう いち

渡辺 洋一さん(49)



世たち。「本物の日本文化を伝えて」という2世の願いで、04年から毎年訪れた。サンパの衣装とリズムで打た。

ち鳴らされる和太鼓には驚いたが、情熱はそれまで指したどの国よりも強かった。

宿泊先には、ぼちと辞書を片手に次から次へと子供たちがやって来た。深夜バスを20時間以上乗り継いで来る子もいた。

とも活動する80代の2世男性は「日本語が話せなくても、太鼓の響きが『日系人である自分とは何者なのか』という問いに答えたんだよ」と、うれしそうに語ったという。

強固だった日系人社会のつながりは、国外への出稼者を見ていききたい。

文と写真・田後真里

86年にプロの太鼓集団「天邪鬼(あまのじゃく)」を発足。各国で演奏活動と指導者育成を続ける。

太鼓集団天邪鬼

〒177-0035 東京都練馬区南田中 5-9-11-101

TEL:03-3904-1745 FAX:03-3904-9434 E-Mail: taikoshudan@amanojaku.info

http://amanojaku.info